第3回

ぎふし共育都市プロジェクト　イベントレポート

子育てを楽しめるまちへ 市を挙げた取り組みが始動！

夫婦で共に子育てを楽しむ「共育」を応援する「ぎふし共育都市プロジェクト」が、令和元年度よりスタートしました。同プロジェクトでは、子どもを育てるパパママ、そして子育てを支える企業の両面から、共育を啓発する取り組みが展開されています。今回は、本年度の取り組みの様子をレポートします。

育児・家事を学ぶ「パパ大学」が開校！

パパはまず自分の事を自分で

9月6日、今年度第1回目のパパ大学が開催されました。パパ講座では、家事ジャーナリストの山田亮さんが自身の経験を交えて、育児や家事に取り組む姿勢をレクチャー。これから育児や家事に挑むパパに対し、山田さんは「まずは自事（自分の事）を自分で行うこと）ができることが大切」と話します。そこで、参加者は「服の着替えがどこにあるか分かる」「炊飯器でご飯が炊ける」などの項目をチェックし、自事力を確認しました。

また育児についても、パパ育児の定番「お風呂」を例に、子どもをお風呂に入れる前後に必要な家事・育児をリストアップ。「お風呂を洗う」「着替えを準備する」「保湿剤を塗る」など、普段はママがやっていることを上げることで、パパたちはお風呂に入れる以外にできる家事・育児を再認識したようです。

その頃、ママたちは妊娠中もできるヨガを習うママ講座に参加。月経時の不調を緩和する「合蹠（がっせき）のポーズ」や、逆子矯正にも効果があるとされる「ネコのポーズ」などを教わり、リフレッシュした様子でした。

家事をシェアする共家事を学ぶ！

後半は、夫婦が合流して家事シェアを学びます。最初に、育児や家事が100項目書かれた表を配布。それぞれがやっているタスクに色を塗り、どちらがどれだけ家事・育児をしているかを可視化してみました。

すると、思っていた以上にママの役割が多いことが判明。「今は育休中ですが、仕事に復帰したらパンクしてしまう」と話すママや、「自分が気づいていない家事もあり、もう少し頑張らないと！と思った」というパパなど、さまざまな気づきが生まれました。

参加者が「しっかり役割や家事のやり方を話し合う機会を持たなければ」と話す中、山田さんは「『2人でやればアイディア2倍・手間半分』と思い、コミュニケーションをとりながら家事を見直すことが大切です。また、常に感謝と思いやりを伝えることを忘れずに」とエールを送りました。

誰もが働きやすい職場へ 企業向けセミナーを開催

働き方改革のカギは社員の意識改革

岐阜市では、仕事と家庭の両立や女性活躍など、男女が共に働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組む岐阜市内の企業を「ぎふし共育・女性活躍企業」として認定しています。その取り組みをさらに推進するため、10月19日、仕事と家庭の両立や女性活躍を推進する企業に向けたセミナーが開催されました。

今回のテーマは、ウィズコロナ時代の働き方。セミナーでは、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言下に、柔軟な働き方で出社率20％を実現し、ぎふし共育・女性活躍企業にも認定されている、リコージャパン株式会社岐阜支社長の林徹也氏が、取り組み事例を紹介しました。

近年、多様性を認め合い、個々の違いを生かすダイバーシティ（企業に多様な人材が存在している状態）や、インクルージョン（多様な人材を受け入れ、個性を生かして働くこと）が注目を集めています。林氏は、その実現には「多様な人材が能力を発揮できる職場環境整備が不可欠」と話します。

そこで同社では、社員主導での支社リニューアルや、固定席を廃止した完全フリーアドレス化、業務の洗い出しによる業務標準化などの取り組みを通じ、社員の意識改革に注力。結果、生産性を維持しながら、労働時間の削減や年次有給休暇の取得率アップなどを実現しました。

さらに新型コロナの感染拡大を機に、全社で在宅勤務を実施。訪問が主流だった営業スタイルも、電話やメールを活用した非対面営業へ移行しました。林氏は「仕組みや制度を整えることに加え、社員の意識を変えることが働き方改革の大きなカギ」とし、今後もニューノーマルな働き方を推進していくと話しました。

ぎふし共育・女性活躍企業

男性の主体的な育児参画を推進する「共育企業部門」と、女性が個性と能力を発揮して活躍できる取り組みを行う「女性活躍企業部門」の2部門で企業を認定。今年度も市内企業から多数の応募があり、12月に認定企業が決定します。また認定式は、令和3年2月に行われる予定です。

「パパとキッズなホリデー」参加者募集！

岐阜市では、男性の主体的な家事・育児参画により、夫婦で共に子育てを行う「共育」を推進しています。今回は、父親と子どもだけの日帰り旅行「パパとキッズなホリデー」の参加者を募集します。ぜひご参加いただき、笑顔で子育てを楽しみましょう！

定員10組　保育士同行　親子で参加

第5回 パパとお弁当を作って、ピクニック＆映画鑑賞！

◆日　時／12月6日（日）9時00分～16時00分（予定）
◆目的地／岐阜柳ヶ瀬CINEXほか
◆交通手段／貸切バス（集合場所は別途お知らせします）
◆募集対象／岐阜市在住の父親とその子ども（3歳以上の未就学児）
◆募集人数／10組程度（対象年齢であれば子どもは複数参加可）
◆参加費／1,000円（1組当たり）

プログラム●①弁当作り ②昼食 ③映画鑑賞
※「映画 きかんしゃトーマス Go! Go! 地球まるごとアドベンチャー」を上映します。

募集期間●11月1日（日）～11月11日（水）まで

第6回 電車に乗って郡上八幡界隈へ出かけよう！

◆日　時／1月17日（日）9時00分～16時00分（予定）
◆目的地／郡上八幡界隈
◆交通手段／長良川鉄道・貸切バス（集合場所は別途お知らせします）
◆募集対象／岐阜市在住の父親とその子ども（3歳以上の未就学児）
◆募集人数／10組程度（対象年齢であれば子どもは複数参加可）
◆参加費／1,000円（1組当たり）

プログラム●①長良川鉄道乗車 ②郡上八幡フォトラリー ③食品サンプル体験

募集期間●12月10日（木）～12月23日（水）まで

申込方法●「ぎふし共育都市プロジェクト」ホームページの応募フォームから申し込んでください。
※応募者多数の場合は抽選

	開催日	行き先
⑦	令和3年2月7日㈰	道の駅 土岐美濃焼街道 どんぶり会館（土岐市肥田町）
⑧	令和3年2月21日㈰	いちご狩り・四国山香りの森公園（山県市）

申込はコチラから！

申込方法　「ぎふし共育都市プロジェクト」ホームページの応募フォームから申し込んでください。
※応募者多数の場合は抽選。

問い合わせ先　「ぎふし共育都市プロジェクト」事務局（株式会社中日アド企画）●電話／058-265-6220
岐阜市子ども政策課 ●電話／058-214-2397

※詳細は、「ぎふし共育都市プロジェクト」ホームページをご覧ください。※日程・内容は変更する可能性があります。

ライブを楽しもう

今やスポーツ観戦やコンサート、飲み会までもオンラインの時代。会場で観たり聴いたり盛り上がったり、一体感を得るのが難しい昨今。そんな中、子育ては刻々と変化し続けるライブ進行。今となっては貴重な実体験できるライブイベント。

一昔前は、ビデオカメラを構えて「さあ撮るぞ！」なパパも大勢いました。今はスマホやデジカメでサクッと撮る傾向。短い映像をパッと撮って、パッと加工して、パッと見る。パパやママの声も入れて撮ると、日常のライブ感が残せます。

今のカメラは画角がずいぶん広がりました。置きっぱなしにして、子どもと一緒に映るのもオススメです。せっかくの機会です。できれば、記録者ではなく、参加者として子育てライブを楽しんで欲しいです。きっと自分と一緒の時間をエンジョイしている親の姿は、子どもにとっても良いものになると思います。

講師 山田 亮氏
家事ジャーナリスト
スーパー主夫、社会福祉士

1998年、当時大学助手だった妻と結婚。キャリアウーマンである妻を支え、主夫をしながら佛教大学博士課程に進学。2001年、長女が誕生。ホームページ上で綴った家事・育児記録が新聞社の目にとまり執筆活動を開始。ロジカルな視点で「楽に家事をする」方法を日々実践し、「楽家事ゼミ」を主宰して情報提供や家事指導を行う。